



2026年度第1四半期決算 および 2026年度業績見通し

2026年8月4日

帝人株式会社

決算発表のポイント

2026年度第1四半期実績

- 事業利益：123億円（前年同期比+45億円）
 - ✓ 中東影響による顧客在庫形成や一部用途における値上げ効果の先行発現等
- 当期利益：451億円（前年同期比+458億円、26年4月にアラミドペーパー事業の譲渡完了）

2026年度業績見通し

- 売上収益は期初見通しを上回る一方、利益・配当予想は据え置き
- 事業利益：300億円（前年度比+42億円）
- 年間配当：1株当たり50円を予定（中間25円、期末25円）

トピックス

- 医薬品ビジネスの構造改革の一環として、長期収載品7製品の販売機能を移管する契約を締結

目次

- 1 2026年度第1四半期決算
- 2 2026年度業績見通し
- 3 参考資料

目次

1 2026年度第1四半期決算

2 2026年度業績見通し

3 参考資料

実績サマリー（前年同期比）

- 売上収益は**212億円**の減収、事業利益は**45億円**の増益
- アラミドペーパー事業の譲渡等により四半期利益は**451億円**

(億円)	25年度1Q	26年度1Q	差異
売上収益	2,431	2,219	✓ -212
事業利益	78	123	✓ +45
金融収益および費用	▲ 35	▲ 4	+31
非経常項目	▲ 42	478	+520
その他	▲ 9	▲ 146	-137
親会社の所有者に帰属する 四半期利益（損失）	▲ 7	✓ 451	+458
ROE ^{*1}	-0.7%	46.3%	+47.0%
ROIC ^{*2}	2.8%	5.0%	+2.2%

PL換算レート	円／米ドル	145	159
	円／ユーロ	164	185
原油(Dubai)価格（米ドル／バレル）		69	96
欧州天然ガス価格（ユーロ／MWh）		36	46

*1 ROE：親会社の所有者に帰属する四半期利益(損失)÷期首・期末平均親会社の所有者に帰属する持分（年換算後）

*2 ROIC：税引後事業利益÷期首・期末平均投下資本にて算出（投下資本=資本+有利子負債）（年換算後）

実績サマリー（前年同期比） | セグメント別

- 売上収益は、複合成形材料 北米事業の譲渡等により**212億円**の減収
- 事業利益は、エレクトロニクス＆エナジーが好調に推移し**45億円**の増益

	売上収益				事業利益			
	25年度1Q	26年度1Q	差異	増減率	25年度1Q	26年度1Q	差異	増減率
(億円)								
アパレル＆インダストリーズ	821	917	+96	+11.7%	41	48	+7	+17.5%
ヘルスケア＆ライフソリューションズ	338	329	-9	-2.6%	40	46	+6	+14.6%
エレクトロニクス＆エナジー	366	453	+86	+23.5%	51	85	+34	+67.7%
スペシャリティマテリアルズ	836	479	-357	-42.7%	▲ 18	▲ 10	+7	-
その他	69	41	-28	-40.9%	▲ 3	▲ 18	-15 ^{*1}	-
消去又は全社	-	-	-	-	▲ 32	▲ 28	+5	-
合計	2,431	2,219	✓ -212	-8.7%	78	123	✓ +45	+57.3%

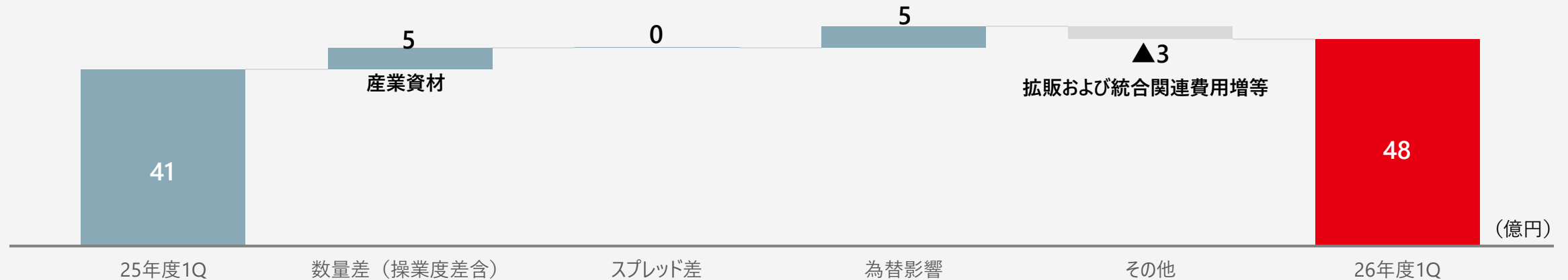
*1 アラミドペーパー事業の除外による影響

セグメント別事業利益増減分析（前年同期比） | アパレル&インダストリーズ

売上収益 917億円（前年同期比：+96億円）

事業利益 48億円（前年同期比：+7億円）

- 産業資材・衣料繊維の各用途での堅調な販売が増益に寄与

増加
(+)

- ・ 販売量増加
産業資材：人工皮革、各種フィルター向けポリエステル短繊維、生活雑貨
衣料繊維：北米や中国向けテキスタイル・衣料品
- ・ 原燃料価格高騰を値上げと販売構成良化で相殺

減少
(-)

- ・ 拡販費用および労務費増加等
- ・ 旭化成アドバンスとの統合関連費用等

セグメント別事業利益増減分析（前年同期比）

ヘルスケア＆ライフソリューションズ

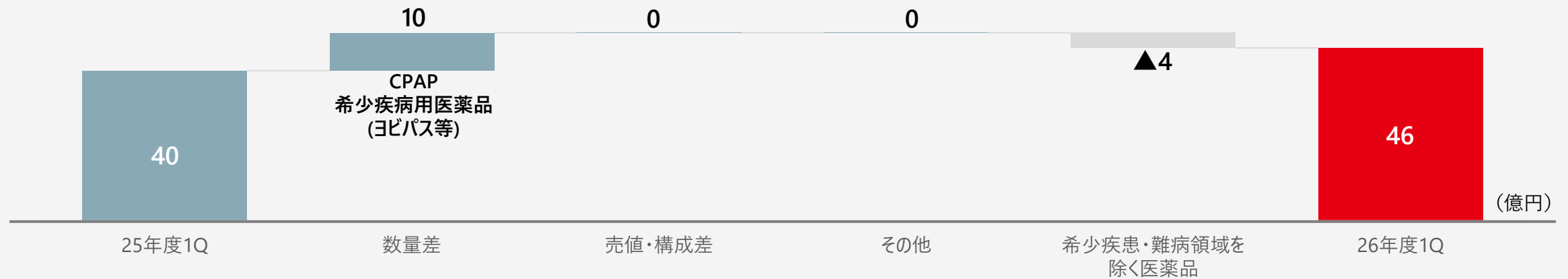
売上収益

329億円（前年同期比：▲9億円）

事業利益

46億円（前年同期比：+6億円）

- CPAPレンタル台数増加や希少疾病用医薬品の販売量増加等により増益

増加
(+)

- CPAPレンタル台数増加
- 希少疾病用医薬品の販売量増加
副甲状腺機能低下症治療剤 ヨビパス等

減少
(-)

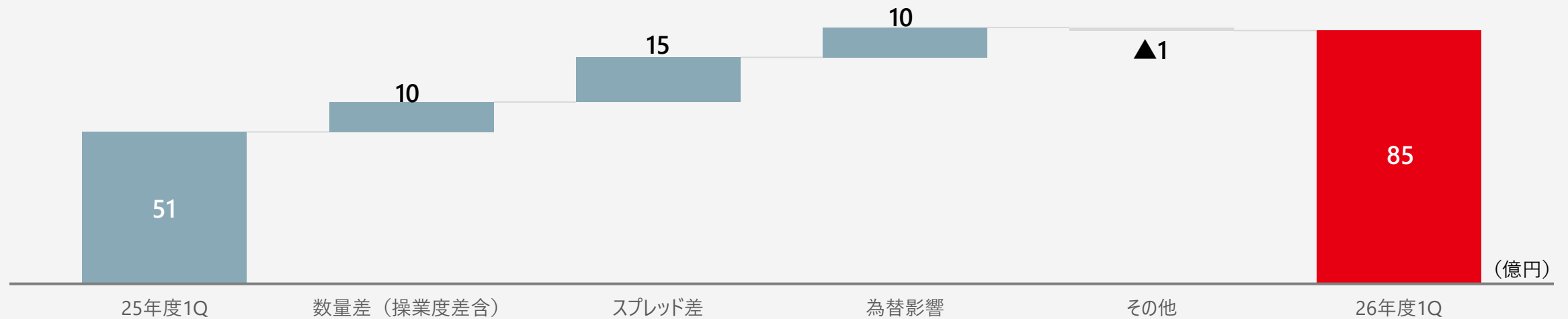
- 希少疾患・難病領域を除く医薬品ビジネス（糖尿病治療剤販売権の減損影響を含む）
薬価改定影響や販売終了に伴う数量減少等

セグメント別事業利益増減分析（前年同期比） | エレクトロニクス&エナジー

売上収益 453億円（前年同期比：+86億円）

事業利益 85億円（前年同期比：+34億円）

- 顧客における在庫形成や電池部材・半導体関連分野の安定需要等を背景に、販売量は堅調に推移

増加
(+)

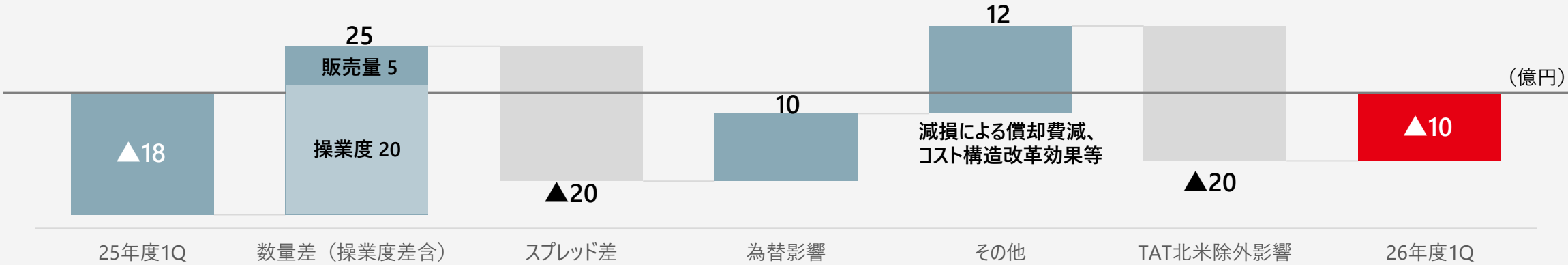
- 販売量堅調
顧客在庫形成等
- 原燃料価格上昇に伴う販売価格改定
原燃料価格上昇影響は2Q以降に一部繰り延べ
- 為替影響

セグメント別事業利益増減分析（前年同期比） | スペシャルティマテリアルズ

売上収益 479億円（前年同期比：▲357億円）

事業利益 ▲10億円（前年同期比：+7億円）

- アラミド繊維は、操業度・販売量増加により数量差が改善。原燃料価格の上昇によりスプレッドは悪化
- 炭素繊維は、航空機用途の増加により販売構成改善。コスト構造改革も着実に進捗



全体		アラミド繊維	炭素繊維（複合成形材料含む）
増加 (+)	- コスト構造改革 - 減損による償却費減少	- 操業度改善 25年度大型定修からの回復 - 販売量堅調 防弾防護用途、自動車用途	航空機用途の増加に伴う販売構成改善
減少 (-)	原燃料価格上昇		複合成形材料 北米事業の除外影響

金融収益および費用、非経常項目（前年同期比）

金融収益および費用

- 有利子負債の返済により支払利息減少

(億円)	25年度1Q	26年度1Q	差異
受取利息	7	7	+0
受取配当金	4	2	-2
為替差益	-	4	+4
デリバティブ評価益	2	-	-2
金融収益 計	14	14	+0
支払利息	▲25	▲16	✓ +9
為替差損	▲23	-	+23
デリバティブ評価損	-	▲1	-1
その他	▲1	▲1	+0
金融費用 計	▲49	▲18	+31
金融収益および費用 計	▲35	▲4	✓ +31

※ 益プラス表示、損マイナス表示

非経常項目

- アラミドペーパー事業の譲渡により関係会社株式売却益を計上

(億円)	25年度1Q	26年度1Q	差異
固定資産売却益	0	50 ^{*2}	+50
関係会社株式売却益	6	✓ 455	+448
固定資産処分損	▲1	▲1	-0
減損損失	▲37	▲0	+36
その他 ^{*1}	▲10	▲25	-15
非経常項目 計	▲42	478	+520

*1 特別退職金等

*2 非事業用資産（遊休地）の売却

財政状況（前年度末比）

●総資産は前年度末比増加

アラミドペーパー事業の売却収入によりD/Eレシオは前期末から改善

	(億円)	26年3月末	26年6月末	差異	内 為替換算影響
総資産		9,201	9,502	✓ +301	+80
負債		5,515	5,303	-212	+20
(内 有利子負債)		3,364	3,252	-112	+8
資本		3,686	4,199	+512	-
D/Eレシオ		0.92	0.78	-0.14	-
D/Eレシオ（資本性調整後） ^{*1}		0.78	✓ 0.66	-0.11	-
BS換算レート	円／米ドル	160	162		
	円／ユーロ	183	185		

*1 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債600億円発行済）

キャッシュ・フローの状況（前年同期比）

- アラミドペーパー事業の売却により投資活動によるキャッシュ・フローが大幅に増加

	(億円)	25年度1Q	26年度1Q	差異
営業活動		166	173	+6
投資活動		▲ 185	363	✓ +549
フリー・キャッシュ・フロー		▲ 19	536	+555
財務活動他		998 ^{*1}	▲ 171	-1,168
現金及び現金同等物増減		978	366	-613

*1 複合成形材料 北米事業の譲渡に伴う一時的な借入金増加影響

目次

1 2026年度第1四半期決算

| 2 2026年度業績見通し

3 参考資料

通期業績見通しサマリー（前年度比）

- 売上収益は**268億円**の増収（前回見通し比+500億円*1）、事業利益は**42億円**の増益、当期利益は**1,330億円**の増益
- 1株当たりの配当金は**年間50円**（中間25円、期末25円）を予定（前年度から変更なし）

	(億円)	25年度実績	26年度見通し	差異	26年度前回見通し
売上収益		8,732	9,000	✓ +268	8,500
事業利益		258	300	✓ +42	300
親会社の所有者に帰属する 当期利益（損失）		▲ 880	450	✓ +1,330	450
ROE		-22.1%	12%	+34%	12%
ROIC		2.6%	3%	+0%	3%
D/Eレシオ（資本性調整後）*2		0.78	0.7	-0.1	0.7
1株当たり配当（円）		50	✓ 50	-	50
配当性向		-	21%	-	-
通期平均為替レート	円／米ドル	151	156		
	円／ユーロ	175	183		

*1 アパレル & インダストリーズ：+200億円、エレクトロニクス & エナジー：+100億円、スペシャリティマテリアルズ：+200億円

*2 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

通期業績見通しサマリー（前年度比） | セグメント別

- 売上収益は**268億円**の増収。アパレル＆インダストリーズは、旭化成アドバンスとの経営統合効果が下期より発現し増収
ヘルスケア＆ライフソリューションズは、医薬品ビジネスにおける希少疾患・難病領域への絞り込みにより減収
- 事業利益は**42億円**の増益

	売上収益			事業利益			ROIC		
	25年度実績	26年度見通し	差異	25年度実績	26年度見通し	差異	25年度実績	26年度見通し	28年度目標
(億円)									
アパレル＆インダストリーズ	3,501	4,200	+699	171	190	+19	8%	8%	8%
ヘルスケア＆ライフソリューションズ	1,386	1,100	-286	134	100	-34	7%	5%	12%
エレクトロニクス＆エナジー	1,499	1,600	+101	189	150	-39	16%	13%	16%
スペシャリティマテリアルズ ^{**1}	2,128	1,900	-228	▲ 90	30	+120	-3%	1%	6%
その他	219	200	-19	▲ 35	▲ 50	-15	-	-	-
消去又は全社	-	-	-	▲ 111	▲ 120	-9	-	-	-
合計	8,732	9,000	✓ +268	258	300	✓ +42	2.6%	3%	5%

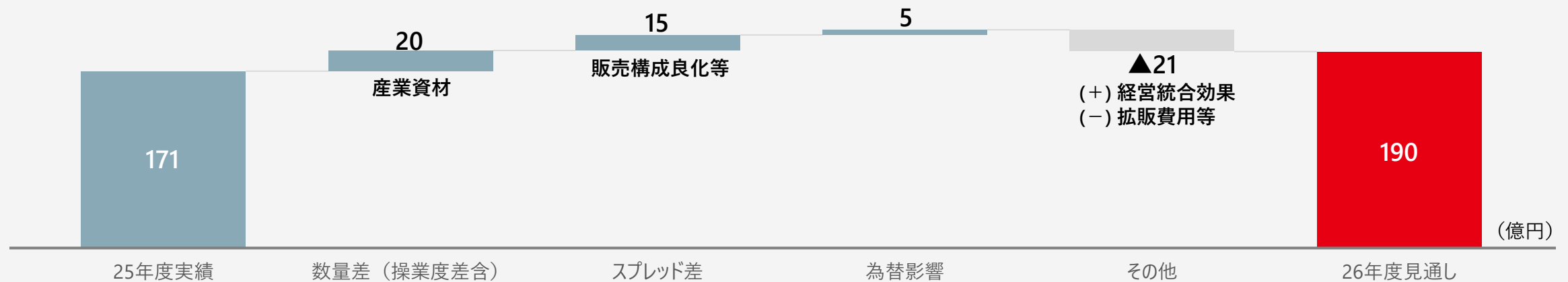
*1 2025年度実績は複合成形材料 北米事業含む（25年7月1日に譲渡完了）

セグメント別事業利益増減分析（前年度比） | アパレル&インダストリーズ

売上収益 4,200億円（前年度比：+699億円）

事業利益 190億円（前年度比：+19億円）

- 衣料繊維・産業資材の各用途で販売堅調。旭化成アドバンスとの経営統合効果は下期より段階的に発現

増加
(+)

- 販売量増加
産業資材：人工皮革、各種フィルター向けポリエステル短繊維、生活雑貨
衣料繊維：北米や中国向けテキスタイル・衣料品
- 販売構成良化
- 原燃料価格や委託加工費上昇もスプレッドは維持
- 旭化成アドバンスとの統合効果

減少
(-)

- 拡販費用および労務費増加等

セグメント別事業利益増減分析（前年度比） | ヘルスケア & ライフソリューションズ

売上収益 1,100億円（前年度比：▲286億円）

事業利益 100億円（前年度比：▲34億円）

- CPAPレンタル台数増加や希少疾病用医薬品の販売量増加も、医薬品ビジネスの絞り込みにより減益

増加
(+)

- CPAPレンタル台数増加
- 希少疾病用医薬品の販売量増加
副甲状腺機能低下症治療剤 ヨビパス等

減少
(-)

- 希少疾患・難病領域を除く医薬品ビジネス（糖尿病治療剤販売権の減損影響を含む）
薬価改定影響や販売終了に伴う数量減少等

医薬品7製品の製造販売承認の承継および販売移管

- 中期経営計画で掲げた「質の高い収益基盤の確立」を目指し、医薬品ビジネスの構造改革を推進中
- 希少疾患・難病領域への絞り込みを加速化するため、医薬品7製品をLTLファーマ株式会社へ承継・販売移管

承継・移管の概要

- 契約締結：2026年6月（7月末にクロージング完了）
- 承継先：LTLファーマ株式会社
- 承継対象品：ボナロン、スピロペント、ライトゲン、フェブリク、オルベスコ、サリベート、サルコート
- 対象品の25年度売上収益金額：約120億円

医薬品の絞り込みを一段と進め、在宅医療基盤を活用できる領域（希少疾患・難病等）で価値を早期に創出

医療機器：国内外50万人以上に提供

自動圧調整CPAP*1用装置
「スリープメイト」



酸素濃縮装置
「ハイサンソ」



医薬品：希少疾患・難病薬への絞り込み

副甲状腺機能
低下症
「ヨビパス」



先端巨大症・
下垂体性巨人症ほか
「ソマチリン*2」



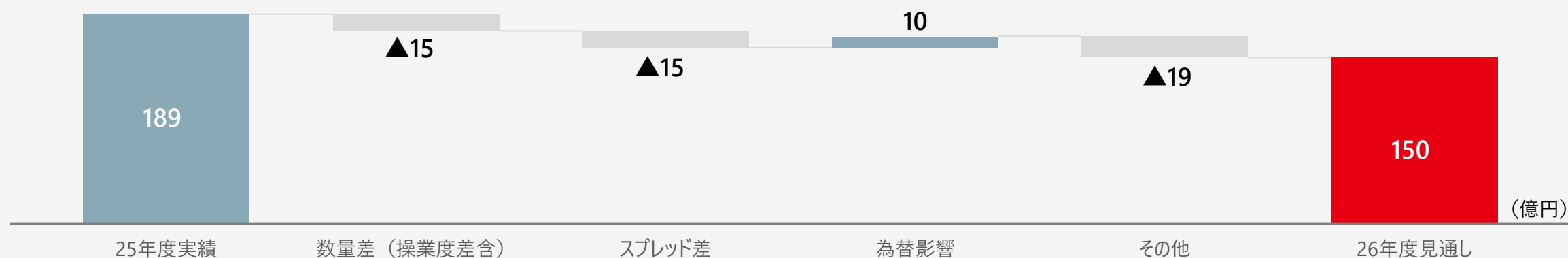
上肢痙縮・下肢痙縮
・慢性流涎症ほか
「ゼオメイン*3」



セグメント別事業利益増減分析（前年度比） | エレクトロニクス&エナジー

売上収益 1,600億円（前年度比：+101億円）**事業利益** 150億円（前年度比：▲39億円）

- 特許供与収入剥落等の一時的な要因に加え、市場の先行き不透明感もあり減益を見込む

増加
(+)

- ・ 為替影響

減少
(-)

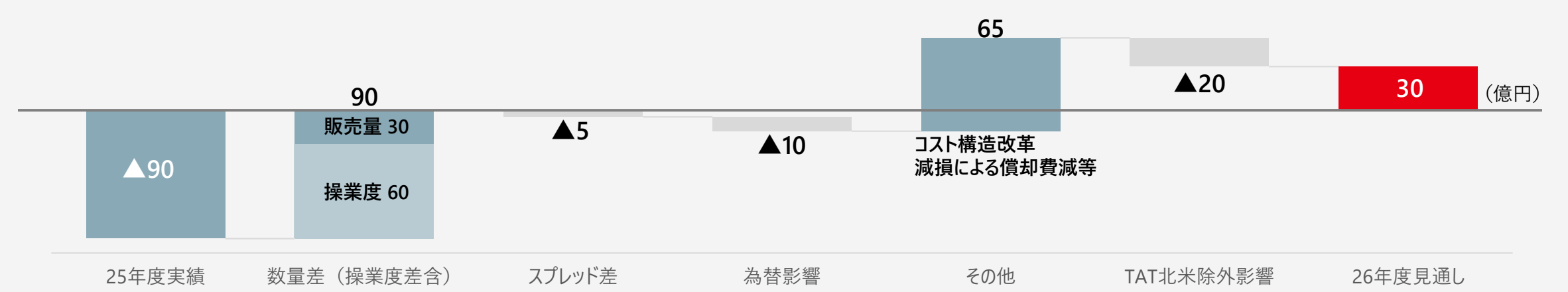
- ・ 販売量減少
販売期ずれ（セパレータ）
1Qからの顧客在庫形成は解消
- ・ スプレッド悪化
2Q以降、原燃料価格上昇影響が顕在化
- ・ セパレータ特許供与収入の剥落 等

セグメント別事業利益増減分析（前年度比） | スペシャルティマテリアルズ

売上収益1,900億円（前年度比：▲228億円）

事業利益30億円（前年度比：+120億円）

- アラミドは操業度改善、減損による償却費減少等により増益
- 炭素繊維は航空機用途の販売量増加、コスト構造改革の進展等により増益



全体	アラミド繊維	炭素繊維（複合成形材料含む）
増加 (+) - コスト構造改革 - 減損による償却費減少	- 操業度改善 25年度大型定修からの回復 - 販売量増加 自動車、一般産業用途	航空機用途の増加に伴う販売構成改善
減少 (-) 原燃料価格上昇	為替影響 ユーロ高	複合成形材料 北米事業の除外影響

目次

1 2026年度第1四半期決算

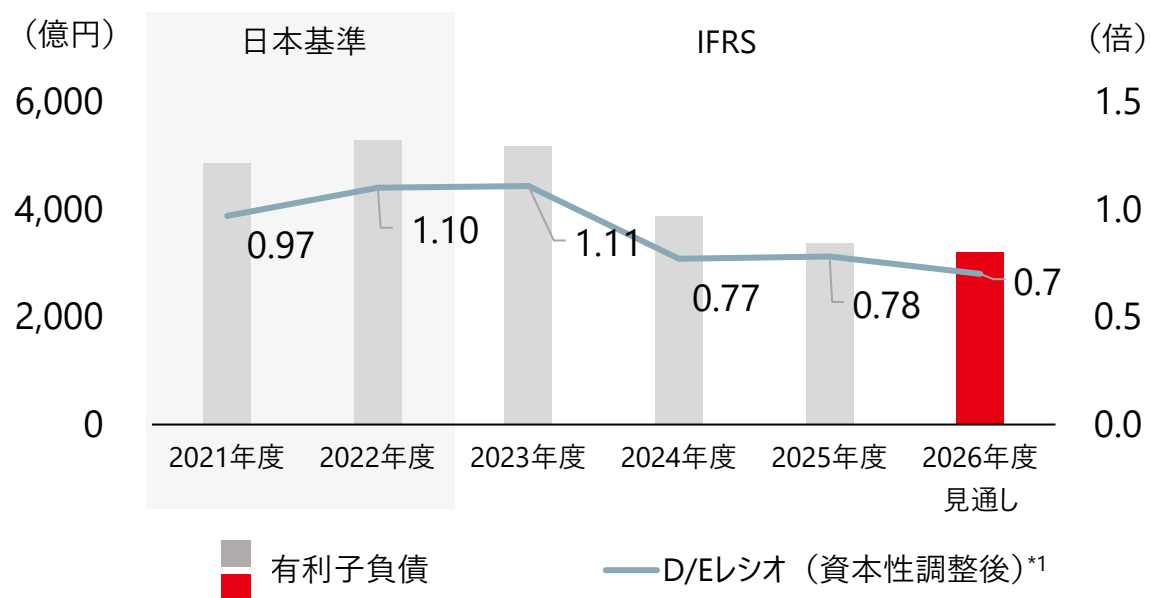
2 2026年度業績見通し

| 3 参考資料

2026年度配当見通し

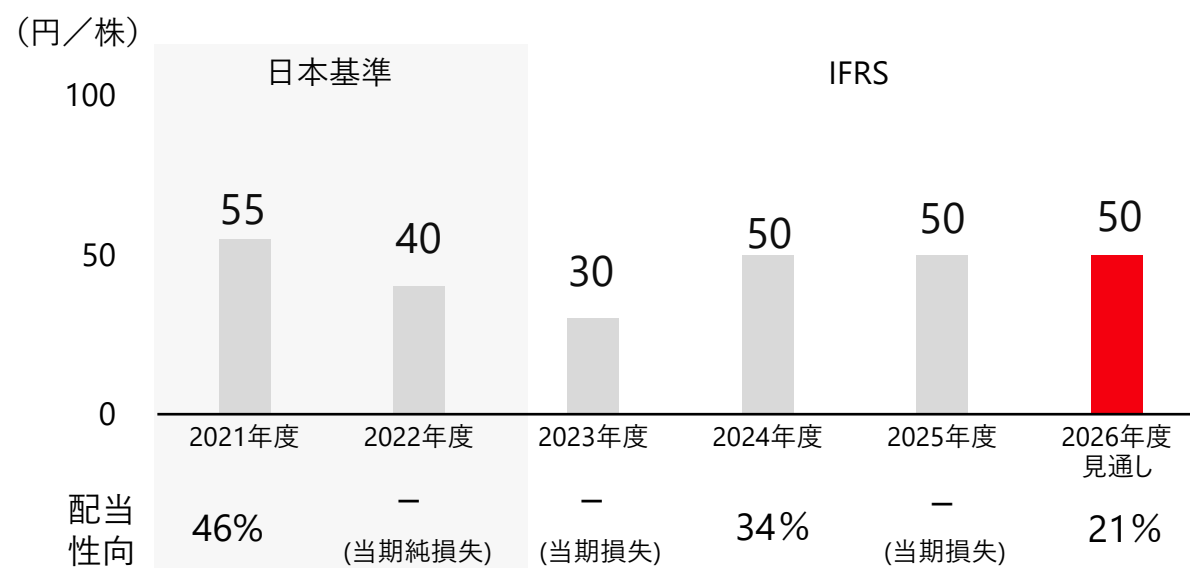
- 安定配当を軸に2026年度は1株あたり50円を予定（中間：25円、期末：25円）

有利子負債・D/ELシオ推移



*1 劣後債資本性調整後のD/ELシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

一株当たり配当金推移



前提 | 当社の主要ターゲット市場の動向（2026年度）

アパレル & インダストリーズ：A&I ヘルスケア & ライフソリューションズ：H&L
エレクトロニクス & エナジー：E & E スペシャリティマテリアルズ：S/M

市場	関連事業	マクロ環境
アパレル	A&I	日本・米国の需要は堅調に推移 中国はスポーツ・アウトドア用途を中心に回復基調
インフラ	A&I S/M	各種フィルター（工業用、浄水用）の需要は堅調に推移 次世代エネルギーインフラを支える海底電力ケーブル市場は中長期的に拡大見込み
ヘルスケア	H&L	在宅医療は、患者ニーズ増大が継続 （睡眠時無呼吸症候群の国内潜在患者数は900万人以上※）
電池部材・半導体関連	E&E	ハイエンドスマートフォンの需要は堅調に推移 高機能半導体分野は、AIの伸長により需要が急速に拡大
自動車	A&I E&E S/M	欧州は低成長が継続 中国は地場メーカーが牽引し、全般的に堅調も、成長の安定化は不透明 日本は前年度の低調から緩やかな回復が見られるものの一部で在庫調整が継続
航空機	S/M	サプライチェーン上での調達制約は段階的に解消し、主要航空機メーカーの生産機数は前年を上回る水準 市場は中長期で成長見通し

定常的な損益影響要因

セグメント	主な要因
アパレル & インダストリーズ	・ 衣料関係は2Q～3Qが秋冬物、4Qが春物シーズン
ヘルスケア & ライフソリューションズ	・ 4Qに経費集中傾向
エレクトロニクス & エナジー	・ 樹脂は毎年2Q、3Qに定修
スペシャリティマテリアルズ	・ アラミドの大型定修は3年に一度（2025年度1Qに実施。次回は2028年度1Qを予定）

開示セグメントの変更

- 中期経営計画 2026-2028の軸となる顧客起点型ビジネスを推進するため、2026年度より顧客領域別に開示セグメント区分を変更

旧セグメント

セグメント	事業
繊維・製品	繊維・製品
ヘルスケア	ヘルスケア
マテリアル	アラミド、樹脂、炭素繊維、複合成形材料
その他	電池部材・メンブレン、 再生医療・埋込医療機器他

新セグメント

セグメント	事業
アパレル & インダストリーズ	繊維・製品
ヘルスケア & ライフソリューションズ	ヘルスケア
エレクトロニクス & エナジー	樹脂、電池・半導体ソリューション*
スペシャリティマテリアルズ	アラミド、炭素繊維(複合成形材料含む)
その他	再生医療・埋込医療機器他

*旧電池部材・メンブレン事業

2026年度第1四半期決算 セグメント別まとめ[前年同期比]

(億円)	合計				アパレル & インダストリーズ				ヘルスケア & ライフソリューションズ			
	25年度1Q	26年度1Q	差異	増減率	25年度1Q	26年度1Q	差異	増減率	25年度1Q	26年度1Q	差異	増減率
売上収益	2,431	2,219	-212	-8.7%	821	917	+96	+11.7%	338	329	-9	-2.6%
EBITDA	232	247	+16	+6.8%	61	68	+6	+10.0%	102	96	-6	-6.0%
減価償却費	153	124	-29	-19.1%	21	20	-1	-4.9%	62	50	-12	-19.3%
事業利益	78	123	+45	+57.3%	41	48	+7	+17.5%	40	46	+6	+14.6%
ROIC	2.8%	5.0%	+2.2%	-	7%	8%	+1%	-	7%	11%	+4%	-

	エレクトロニクス & エナジー				スペシャリティマテリアルズ				その他			
	25年度1Q	26年度1Q	差異	増減率	25年度1Q	26年度1Q	差異	増減率	25年度1Q	26年度1Q	差異	増減率
売上収益	366	453	+86	+23.5%	836	479	-357	-42.7%	69	41	-28	-40.9%
EBITDA	63	99	+35	+55.6%	28	17	-11	-38.0%	9	▲5	-14	-
減価償却費	13	13	+1	+6.6%	46	28	-18	-39.5%	13	13	+1	+5.9%
事業利益	51	85	+34	+67.7%	▲18	▲10	+7	-	▲3	▲18	-15	-
ROIC	18%	27%	+9%	-	-3%	-2%	+1%	-	-	-	-	-

2026年度第1四半期決算 セグメント別四半期推移[前年同期比、前四半期比]

(億円)	25年度					26年度	差異	差異
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	26/1Q -25/1Q	26/1Q -25/4Q
売上収益								
アパレル & インダストリーズ	821	883	882	915	3,501	917	+96	+2
ヘルスケア & ライフソリューションズ	338	345	374	328	1,386	329	-9	+2
エレクトロニクス & エナジー	366	390	377	366	1,499	453	+86	+87
スペシャリティマテリアルズ	836	415	408	469	2,128	479	-357	+10
その他	69	47	47	56	219	41	-28	-15
合計	2,431	2,079	2,088	2,133	8,732	2,219	-212	+86
事業利益								
アパレル & インダストリーズ	41	49	43	39	171	48	+7	+10
ヘルスケア & ライフソリューションズ	40	31	59	5	134	46	+6	+41
エレクトロニクス & エナジー	51	48	51	39	189	85	+34	+46
スペシャリティマテリアルズ	▲ 18	▲ 45	▲ 2	▲ 25	▲ 90	▲ 10	+7	+15
その他	▲ 3	▲ 7	▲ 16	▲ 9	▲ 35	▲ 18	-15	-9
消去又は全社	▲ 32	▲ 23	▲ 27	▲ 29	▲ 111	▲ 28	+5	+2
合計	78	52	108	20	258	123	+45	+104

2026年度第1四半期決算 連結損益計算書[四半期推移]

(億円)	25年度					26年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
売上収益	2,431	2,079	2,088	2,133	8,732	2,219
売上原価	▲ 1,872	▲ 1,993	▲ 1,569	▲ 1,678	▲ 7,112	▲ 1,633
売上総利益	559	86	519	455	1,620	586
販売費および一般管理費	▲ 526	▲ 543	▲ 518	▲ 727	▲ 2,313	▲ 489
その他の収益および費用	▲ 10	▲ 106	2	102	▲ 14	502
営業利益	23	▲ 564	3	▲ 169	▲ 707	600
金融収益および費用	▲ 35	▲ 4	▲ 7	▲ 8	▲ 53	▲ 4
持分法による投資損益	13	9	2	▲ 5	20	3
税引前四半期利益	1	▲ 558	▲ 1	▲ 182	▲ 741	598
法人所得税	▲ 6	17	▲ 41	▲ 108	▲ 139	▲ 148
非継続事業からの四半期利益	-	-	-	-	-	-
四半期利益	▲ 6	▲ 542	▲ 42	▲ 290	▲ 879	451
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	▲ 7	▲ 541	▲ 41	▲ 290	▲ 880	451
非支配分に帰属する四半期利益	2	▲ 1	▲ 0	0	1	▲ 1
営業利益	23	▲ 564	3	▲ 169	▲ 707	600
持分法による投資損益 ^{*1}	14	10	3	▲ 0	27	1
非経常的な要因による損益	42	606	101	189	938	▲ 478
事業利益	78	52	108	20	258	123
設備投資 ^{*2}	199	127	122	148	596	115
減価償却費	153	161	148	142	603	124
研究開発費 ^{*3}	66	66	65	78	275	65

*1 非経常的な要因により発生した損益を除いた額

*2 設備投資には無形資産の取得（M&Aは除く）を含む

*3 2025年度は非経常項目（減損影響等）を除く

2026年度第1四半期決算 連結財政状態計算書[四半期推移]

(億円)	25年度				26年度
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
資産					
流動資産	6,641	5,497	5,732	5,281	5,573
非流動資産	4,810	4,182	4,164	3,920	3,929
合計	11,451	9,680	9,896	9,201	9,502
負債・資本					
負債	7,090	5,826	5,984	5,515	5,303
(内 有利子負債)	4,922	3,867	3,883	3,364	3,252
資本	4,361	3,854	3,912	3,686	4,199
合計	11,451	9,680	9,896	9,201	9,502

2026年度第1四半期決算 総資産内訳[前年度末比]

(億円)	26年3月末	26年6月末	差異
総資産	9,201	9,502	+301
現金及び現金同等物	1,045	1,410	+366
営業債権	1,674	1,656	-17
棚卸資産	2,088	2,146	+58
有形固定資産及び使用権資産	2,373	2,372	-1
のれん及び無形固定資産	589	608	+19
売却目的で保有する資産	151	64	-86
その他	1,282	1,245	-37

2026年度業績見通し セグメント別まとめ[前年度比]

(億円)	合計			アパレル & インダストリーズ			ヘルスケア & ライフソリューションズ		
	25年度実績	26年度見通し	差異	25年度実績	26年度見通し	差異	25年度実績	26年度見通し	差異
売上収益	8,732	9,000	+268	3,501	4,200	+699	1,386	1,100	-286
EBITDA	861	830	-31	249	270	+21	392	305	-87
減価償却費	603	530	-73	78	80	+2	257	205	-52
事業利益	258	300	+42	171	190	+19	134	100	-34
ROIC	2.6%	3%	+0%	8%	8%	+0%	7%	5%	-2%

	エレクトロニクス & エナジー			スペシャリティマテリアルズ			その他		
	25年度実績	26年度見通し	差異	25年度実績	26年度見通し	差異	25年度実績	26年度見通し	差異
売上収益	1,499	1,600	+101	2,128	1,900	-228	219	200	-19
EBITDA	240	200	-40	75	170	+95	▲ 7	▲ 15	-8
減価償却費	51	50	-1	165	140	-25	29	35	+6
事業利益	189	150	-39	▲ 90	30	+120	▲ 35	▲ 50	-15
ROIC	16%	13%	-3%	-3%	1%	+4%	-	-	-

主要経営指標推移

	日本基準			IFRS			
	21年度 実績	22年度 実績	23年度 実績	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 見通し
ROE ^{*1}	5.5%	-4.1%	2.4%	-2.9%	6.7%	-22.1%	12%
営業利益ROIC ^{*2}	5.5%	1.6%	1.6%	-	-	-	-
ROIC ^{*3}	-	-	-	1.8%	2.6%	2.6%	3%
EBITDA ^{*4} (億円)	1,130	878	924	984	982	861	830
基本的 1 株当たり当期利益 ^{*5} (円)	120.6	▲ 92.0	55.1	▲ 60.9	147.1	▲ 456.3	233.3
1 株当たり配当金 (円)	55	40	30	30	50	50	50
フリー・キャッシュ・フロー ^{*6} (億円)	▲ 1,087	27	234	288	1,224	597	630
設備投資 ^{*7} (億円)	2,008	625	669	774	599	596	650
減価償却費 ^{*6} (億円)	688	749	789	780	710	603	530
研究開発費 ^{*8} (億円)	333	319	426	327	309	275	280
総資産 (億円)	12,076	12,424	12,510	12,266	10,613	9,201	9,800
有利子負債 (億円)	4,852	5,294	4,989	5,169	3,871	3,364	3,200
D/Eレシオ ^{*9}	1.10	1.25	1.10	1.26	0.90	0.92	0.8
D/Eレシオ (資本性調整後) ^{*10}	0.97	1.10	0.97	1.11	0.77	0.78	0.7
親会社所有者帰属持分比率 ^{*11}	36.4%	34.2%	36.3%	33.4%	40.6%	39.6%	39%

*1 日本基準：「親会社株主に帰属する当期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

IFRS：「親会社の所有者に帰属する当期利益÷期首・期末平均親会社の所有者に帰属する持分」にて算出

*2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出 (*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金および預金)

*3 「税引後事業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出 (投下資本 = 資本 + 有利子負債)

*4 日本基準：「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

IFRS：「事業利益 + 減価償却費」にて算出

*5 日本基準：1株当たり当期純利益

*6 24年度まではIT事業含む

*7 設備投資には無形資産の取得 (M&Aは除く) を含む
(24年度まではIT事業含む)

*8 2025年度は非経常項目 (減損影響等) を除く

*9 日本基準：「有利子負債÷自己資本」にて算出 (グロス表示)

IFRS：「有利子負債÷親会社の所有者に帰属する持分」にて算出 (グロス表示)

*10 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ (2021年7月21日 劣後債 600億円発行済)

*11 日本基準：自己資本比率

主要医薬品 国内売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	25年度					26年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q
糖尿病治療剤四剤合計		48	46	48	36	178	35
ネシーナ	2型糖尿病治療剤	23	22	23	16	85	13
イニシンク	2型糖尿病治療剤（配合剤）	16	15	15	13	59	14
リオバル	2型糖尿病治療剤（配合剤）	5	5	5	3	19	3
ザファテック	2型糖尿病治療剤	4	5	4	3	16	5
ソマチュリン*1	先端巨大症・下垂体性巨人症、甲状腺刺激ホルモン産生下垂体腫瘍、膵・消化管神経内分泌腫瘍治療剤	16	17	19	15	66	18
ゼオマイン*2	上肢痙縮、下肢痙縮、慢性流涎、痙性斜頸、眼瞼痙攣治療剤	6	7	7	6	26	7
ヨビパス	副甲状腺機能低下症治療剤	非開示					2
ムコソルバン	去痰剤	2	2	3	2	10	2

*1 ソマチュリン/*Somatuline* は Ipsen Pharma (仏) の登録商標です *2 ゼオマイン/*Xeomin*は、Merz Pharma GmbH & Co, KGaA (独) の登録商標です

ESG外部評価

GPIFの以下ESG指数の構成銘柄に採用



FTSE JPX Blossom
Japan Index

2026 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



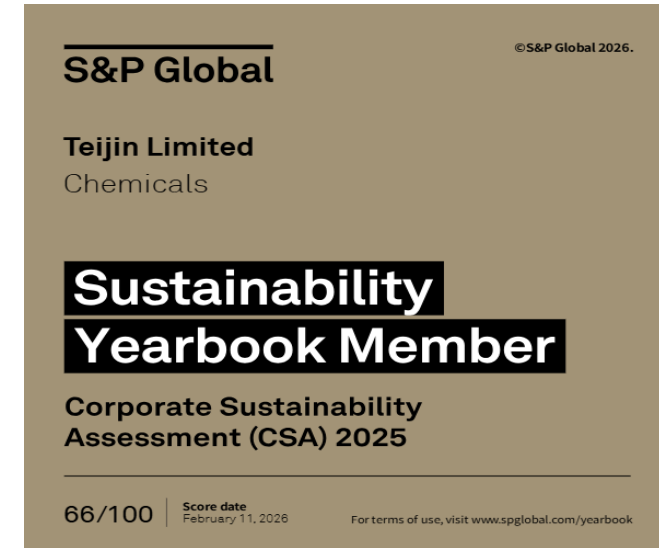
FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index

2026 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数



(注) 帝人株式会社の子会社のいずれかのMSCIインデックスへの組み入れ、ならびに本資料におけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社による帝人株式会社への後援、推奨または宣伝を意味するものではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的な財産です。MSCIならびにMSCIインデックスの名称およびロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標またはサービスマークです。

S&P Global Sustainability Yearbookへの掲載



SRI（社会的責任投資） インデックスへの組み入れ



FTSE4Good

SOMPOサステナビリティ・ インデックスの構成銘柄に採用



Sompo Sustainability Index

日経サステナブル総合調査 SDGs経営編において「★4」を獲得



ESGへの取り組みが優れている企業として 2つの国内プログラムに選定

健康経営優良法人

スポーツエールカンパニー
(シルバー認定)





本資料に関するご注意

当資料は、任意適用である監査法人によるレビューを受けていない四半期連結財務諸表を基に作成しております。

記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

医薬品、医療機器、再生医療等製品（開発中のものも含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的とするものではありません。

本資料は2026年8月4日11時30分に公表した弊社決算に基づくものです。